

平成19年度新体力テストの結果

1 調査の概要と調査協力校

(1) 調査の概要

調査の目的

県下の児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、今後の体育指導の改善及び基礎体力養成の資料とする。

調査の対象と人数

ア 小学校	1 ~ 6学年の男女児童	30校	8,145人
イ 中学校	1 ~ 3学年の男女生徒	20校	6,301人
ウ 高等学校	1 ~ 3学年の男女生徒	12校	7,512人
	総計	62校	21,958人

調査協力校の抽出方法

ア 調査協力校の抽出

地域等を配慮して抽出する。

原則として、小学校は平成7年、中学校は平成11年度以降に協力校指定を受けていない学校を選定する。

高等学校にあたっては、以前の順番を考慮して依頼する。

イ 各校における提出人数

各学校における提出調査人数は、原則として各学年男女全員とする。ただし、事情により全員提出できない場合は、相談に応じる。

調査実施の期間 平成19年5月～10月

調査の内容と方法

ア テスト項目

小学校1年～6年(6歳～11歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

中学校1年～高等学校3年(12歳～19歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト又は、持久走のどちらかを選択
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ハンドボール投げ

イ 実施について

文部科学省スポーツ・青少年局から示されている「新体力テスト実施要領」により実施する。

(留意事項)

事前に測定の意味や方法(特に新種目)を十分理解させ、実力が十分発揮できるように指導をする。

中学生・高校生の反復横跳びのラインの間隔を間違えないように設定する。

(新体力テストに移行してからは、小学生と同じ間隔の「1m」である。)

ソフトボール投げのボールは、要領に示された規格のものを使用する。

測定器具については、握力計の精度について留意する。

集計処理

平成15年度から新体力テストの集計処理は、「新体力テスト集計システム」を活用し、長野県教育委員会事務局スポーツ課において行う。

(2) 調査協力校

平成19年度調査協力校

	小学校(30校)	中学校(20校)	高等学校(12校)
東信	佐久西 軽井沢西部 春日 野岸 高瀬 川西	八千穂 北御牧 塩田 依田窪南部	上田染谷丘 野沢南東
南信	箕輪北 美篤 境 四賀 米沢 阿智第二 大鹿 丸山 川路	中川 岡谷南部 永明 鼎 遠山	岡谷南 伊那弥生 松川
中信	岡田 吉田 檜川 北小谷	会田 堀金 松島 上松 大桑 高瀬	松本蟻ヶ崎 豊科 大町北
北信	山ノ内西 古間 二小第一 鬼無里 柳原 通明 真島 真島 小山 森上 中野俊 岡山	野沢温泉 東部 裾花 篠ノ井東 飯山第三	飯山南(飯山) 長野吉田 長野商業 犀峽

平成18年度調査協力校

	小学校(30校)	中学校(20校)	高等学校(12校)
東信	軽井沢中部、本牧 御代田、平根、中込 長、城下、塩尻	小海、望月、真田	東部、岩村田
南信	宮田、赤穂、長地 玉川、竜丘、三穂 伊賀良、山本、龍江	春富、富士見・南、諏訪 諏訪西、阿南第一 豊丘	諏訪実業、上伊那農業 飯田風越、阿南
中信	今井、明善、会染 大町西	明科、女鳥羽、奈川 広陵、木祖、白馬	松本筑摩、大町
北信	柏原、城東、朝陽 若槻、日滝、延徳 豊井、五加、埴生	山ノ内、北部、東北 更北、常盤	飯山北、中野西 長野西、篠ノ井